



第12回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会(3月26日、28日、尾道市など)に、小崎未来さん(第三中学校2年)、柏木みくさん(同1年)、泉彩音さん(第五中学校1年)、原稀未さん(同1年)、山脇菜摘さん(同1年)が広島県チームの選抜メンバーとして出場しました。小学校低学年からソフト

## 若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 01

### 白球に青春をかける少女たち

全日本中学生女子ソフトボール大会広島県選抜

山脇菜摘さん、泉彩音さん、小崎未来さん、  
 柏木みくさん、原稀未さん (写真左から)

ボールを始めた5人。現在、小崎さんと柏木さんは三中のソフトボール部、泉さんと原さんは、山脇さんは東広島市のクラブチームに在籍しています。

野球と似ていますが、ルールや規格が少しずつ違うソフトボール。フィールドが狭く、体感速度の速いボールを打ち返す技術や素早い送球が求められるなど、野球よりも難しい面もあるといえます。

「投げて打って走って。プレーの全部が楽しい」「練習や試合を通じて友だちが増えた」と魅力を話してくれる5人ですが、夜間の練習や遠征など学業との両立は簡単ではありません。「家族や先生の支えがあるから、大好きなソフトボールを続けられる」と感謝の気持ちを忘れません。

大会には地元枠として2つの県選抜チームが出場。それぞれのチームに分かれた5人は、「県の代表として、一試合でも多く勝てるように頑張りたい」と健闘を誓って初戦に臨みました。



▲大会に向けて、練習にも熱がこもります

プレー中の真剣な表情とは対照的に、グラウンドを離れるとあどけない笑顔の中学生。「お祭りがたくさんあって賑やか」「ずっとと住んでいたい」「もっと都会になってほしい」と三原への思いもそれぞれですが、最後は「大好きなソフトボールを三原で続けたい」と声を揃えて答えてくれました。

(取材は大会前の3月中旬に行いました)

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

## 列車と夕日

### 写真・絵を募集しています

#### テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

**応募資格** 市内在住・在勤・在学の人

**選考** 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属します。

※応募作品は返却しません。

**申し込み** 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ

作品エピソード 撮影者 たなだおさむさん 棚田修さん

瀬戸内海へ刻々と沈む夕日の中を走る呉線の新型車両の姿を捉えました。列車を待つ緊張感の中、通過する一瞬に神経を集中してシャッターを切りました。



●撮影年月日平成28年2月 ●撮影場所 幸崎町久和喜

